

川神裕司の 夢の船 タイムス

第14号
H12年12月発行
後援会住所・連絡先
長沢町162
0855-22-2036
E-mail
iidaikan@iwami.or.jp
電子メールでも御意見をどうぞ

新しい世紀を見据えた 20世紀最後の市議会終わる



平成十二年十二月の議会は、いよいよ20世紀最後の定例議会となりました。会期は十二月五日から十九日までとして、慎重な議論が行われました。

今回の議会の主な内容は、平成十二年度浜田市一般会計補正予算(第五号)、(第六号)や公有水面の埋め立てに関して、浜田市監査委員の選任に関して等、二十七の議案が提出され、様々な意見を付して原案の通り可決いたしました。

一般質問

今回の一般質問は次の通りです。

- (一) 広域合併について
- (二) 予想される新規事業と財源確保について

その中でも市民も関心のあった任期満了に伴う助役の選任に関しては坂平弘昭

に決定し、二十一世紀初年度の浜田市政の推進役として期待をされるところです。

12月議会の主な新規事業 (抜粋)

精神障害者訪問介護試行的事業 精神障害者のホームヘルプサービスの在り方を検討し、訪問介護体制を整備
地域保健推進特別事業 浜田市老人保健福祉計画に合わせ、「浜田市第2次保健計画」の策定
浜田294号線関係 道路計画及び交差点概略設計
情報技術学習環境整備事業(1.T社会基盤整備) 公民館における情報技術環境の整備 パソコン5台×7公民館(含むインターネット)

質問

市長は以前の議会において広域合併に対して財政状況の苦しさ等の理由により、広域合併は現在考えていないと答弁をしているが、今回、合併パターンが示され、

20世紀から21世紀への飛躍!

平成12年は、記念すべき2000年にあたり、尚且つ市制施行60周年を迎えた年でした。我々の先人が浜田を愛し、浜田の明るい将来を夢見てこの20世紀を歩んでこられました。

その長い歴史を持つ浜田市が、今厳しい財政難と戦いながら、市民のための政策実現のために頑張っています。



私もこの5年間、微力ではありますが、浜田市が「明るい豊かな町」になるよう汗をかいてきたつもりです。

平成13年は、いよいよ21世紀の幕が開きます。広域合併議論や財政危機等、大きな問題を乗り切りながら、市民の視点に立った行政運営を効率的に行う必要があります。いかに、行政がコスト意識を持ちながら、積極的な施策が展開できるかに掛かっていると考えます。21世紀を迎えるにあたり、今以上に市民の夢の実現のために、本気で「まちづくり」へ挑戦して参りたいと思います。今後ともご指導をよろしくお願い申し上げます。

川神 裕司

浜田市の特色を語る時に、必ずといって注目される要素として「石見神楽」があります。以前もこの紙面で、石見神楽について、述べさせてもらいましたが、この神楽のまちづくりと後継者育成者あつてのことです。

郷土芸能の後継者育成

以前は、後継者が減少して大変心配され、それを契機に始まった神楽大会もありました。しかしながら現在は、小学生を中心にした「こども神楽」が大変元気です。まさに子供が神楽に



頑張り！子供たち

取り組むことは、郷土愛を育み、かつ青少年健全育成にも繋がることです。ただそれらの頑張っている神楽の後継者のために、より多くの披露の場所があることも大事な条件だと考えます。

答弁

合併問題は、関係住民の意向を第一に考えるべきであり、いろいろな情報を収集し、住民の皆さんへ提供することが大変重要なことと考える。合併パターンの範囲は妥当なものとして評価している。それらを踏まえて、庁内に内部研究会を設置し、大学の専門の先生の意見も聞き、地域住民と議論の場を設けたい。また各界の方の意見もしっかり受け止め、さらにホームページでも議論の場を作りたい。

水道事業決算特別委員会 《雨議》九月定例会

さる九月議会において、平成十年水道決算特別委員会が開催され、私にとつて初めて委員長として委員会の取りまとめを行いました。副委員長の牛尾博美議員のサポートと他の議員の協力の元に、六つの意見を付して全会一致で認定をいたしました。意見の主たるものとしては、漏水対策による有収率の向上、中期資金計画の明確化、水道料未収金額の徴収強化等です。



二十一世紀へ向けての

まちづくりと行政改革

現在、地域住民の行政に対するニーズは、多様化する傾向にあります。限られた財源の中で、市民のために何を行わなくてはならないのか。一般的に、行政の行う事業の優先順位に、疑問の声を投げかける市民が多い中で、今後自治体は、どこを目標として進むべきなのでしょう。

浜田市も大きな転換期を迎えており、国勢調査における浜田市の人口の速報値が減少していたことも十分噛み締めながら、情報公開をしつつ、住民参加型の行政運営をしていくことが肝要です。

浜田市は、市制を施行して六十年が過ぎました。この機会に市民の皆様も浜田をもう一度じっくりと見つめて見ませんか？「きつと」「素敵なまち」「づくりのための何かがあるはず」です。

懸案主要事業を実施するために財源はあるのか？

現在浜田市の予算は、補正予算も入れて約百七拾億円で、経常収支比率(数字が多いと事業費が少ないという事)は、昨年十一年度の決算で八十七・九%であり、数年前の九十四%に比べ市長の努力により大きく改善しています。

しかしながら、起債の借り換えにより一時的に下がった部分もあり、手放して喜ぶわけには行きません。しかも改善されたと言っても固定費を除けば、一割強

懸案主要事業の事業費の合計は？

下の表のように現在懸案主要事業を実施するために少なくとも百八十三億円の事業費が必要となります。しかしながら、今まで延べてきた事業は、全て市民が以前より待ち望んでいた施設等が大半であり、これらが未着手と言う事は、いかに浜田市の都市基盤整備事業が遅れていたか、と言う事に他なりません。

しかし残っていません。これでは、市民のための懸案施策を実施する事も、新規施策の実施も非常に困難です。さらに、地方債(市の借金)は、二百四十四億円の残高を残しており、大変厳しい状況にあるのが現実です。

一部の職種の給与は、全国トップクラス

また、十一度決算で人件費は、三十七億八千万円で、臨時職員の給与は、一億三千六百万円。ラスパイレース指数は、職員全体で一〇二・

21世紀に向けて浜田市が抱える懸案事項

浜田市は、現在多くの懸案主要事業を抱え大変苦勞しています。その中でも市民が切望する幾つかの事業を紹介し、その動向をお伝えします。

事業名	現 状	概算事業
原井小学校移転改築事業	場所 浜田合庁北側丘陵地 H12 地質調査、H13年造成・基本設計 H14年土地造成、H17年開校予定	約37億円 用地取得・造成費10億円 校舎・屋体25億円、道路等
図書館建築事業	場所 平坦地で市民の利便性が高い土地で検討 基本計画策定委員会をH12.9月より設置	約22億円 用地費除く
学校給食センター移転改築事業	場所 現在選定中 平成13 土地候補決定、H14 造成・基本計画、 H15 施設建設、H16 民間委託予定	約17億円 O-157対策の為にドライシステム導入
国府地区公共下水道整備事業	処理区面積161ha、区域内人口5,500人 施行年度H12~18年度	約70億円 (浜田市全体整備では530億円)
美川地区農業集落排水事業	対象戸数380戸、供用開始H18年	約19億円
水道未普及地域解消事業	佐野・宇津井、後野地域 H10~H14 対象341戸、1,140人	約18億円 総事業費24億円

それ以外の重点プロジェクトの一例

国立病院移転新築事業	国へ浜田駅北側へ移転新築希望 H16年行政独立法人化実施 地方拠点都市基盤整備事業 県医療審議会、西部医療部会で整備を提言	駅周辺の都市形成のための経費は今後積算 (土地取得、道路整備等)
豊かな海づくり大会開催支援	平成15年開催決定 浜田漁港を中心に開催予定	浜田市負担は今後積算
郷土資料館改築事業	複合施設化、場所等は未定	未定
大学を核としたまちづくり事業	助役をトップとしてプロジェクトチームを結成 大学教授陣によるシンクタンク機能	特別な経費は発生しない

他市の状況はどうなの？

なぜ、先進市の出雲市は、人件費が低いのかと言いますと、平均年齢が低い事と、民間委託が進み、高い行政

コストがかかっている理由

五、一部の職種においては、約一四〇とも言われ、全国でトップクラスと聞いています。つまり、先進市と比べて、はるかに人件費が高い事が全体の経営収支比率を上げる原因にもなっています。



他市とのデータ比較 (金額の単位は、百万円)

区 分	出雲市	平田市	浜田市
経営収支比率	72	83.1	87.9
人 件 費	20.3	27	29.1
公 債 費	19.1	22	23.1
起債制限比率			
単 年 度	10.4	10.4	12.5
3ヶ月平均	10.6	10.6	14.8
地方債残高	48,715	15,775	24,486

(平成11年度決算より)

浜田市行政改革の取組みの一例

(平成9年度~平成11年度の間)

実施項目	内 容	効 果
特別職給料の10%削減を実施		年間で約5百万円の縮減
管理職手当の一部削減を実施		年間で約5百万円の縮減
職員給与定期昇給の12ヶ月延伸を実施		当初は約333百万円の縮減
可燃ごみ収集業務の民間委託		職員7名の削減
時間外勤務の抑制		平成9年度 対前年約25百万円の縮減
公債費の縮減		約80億円を低利な地方債へ切り換え

ではどうすればいいの？

今まで述べてきたように、以前は人件費等を含む固定費が予算の約九割を占めていたのが事実です。その為に、市民が望んだ施設建設や施策が十分に実行できなかったわけですが、今後はそのようなことがあつてはならないと考えます。

では今後どうすればいいの？

たしかに、国の財政難を見ると交付税は下がることはあつても、増加することは考えられません。そうなることと税金の徴収体制を強化することや景気対策による税収増加もさることながら、

近年国においても、地方自治体においても、極めて厳しい財政状況であることは、周知の事実です。その中で国は、効率的な仕組みとして、広域合併を提案して、平成七年に合併推進のための「合併特例法」の改正を行っています。

これによると、交付税による財政支援や色々な特典を、合併する自治体に与えるものです。今後、政府は三千三百ある自治体を千程度にしたいと考えて

徹底した財政改革を断行する事が、最も必要であり、効果があると確信しています。そして財政改革を理解していただく為に、現在の浜田市の財政状況や施策の内容の積極的な情報公開が、とても重要です。今後は、合併パターンによる広域合併も考えながら、市政が運営されなくてはなりません。

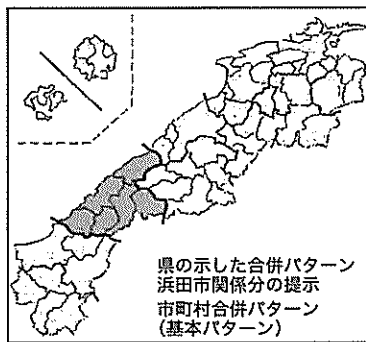
いち早い合併への取り組みもしながら、今後小さな都市には国からの交付税が降りてこないとも言われる現状の中で、十万人都市を目指す合併も真剣に考えて行く事が必要です。その時に、真の圏域のリーダーとして、浜田市がやっ

今後、合併パターンを作らせることで、一層の合併推進を図るようです。しかし問題はいくつか山積しています。例えば

トピックス

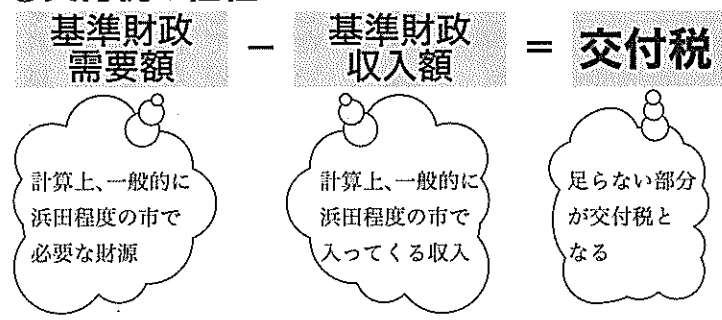
広域合併

- ① 強制ではなく住民の意向が一番であり、住民がどう考えているのか？
- ② 示された合併パターンが実情に合っているのか？



ていけるかは、今後の取り組みにかかっています。

○交付税の仕組み



総務委員会 行政視察記

平成十二年度の総務委員会行政視察は、現在浜田市が直面している財政難を克服するために、「行政改革」、浜田市が計画中の少子化対策のための「子育て支援センター」、そして地方拠点地域指定を受けている駅前の周辺開発のため南北を結ぶ通路問題に焦点を当て、「橋上駅」の視察を計画いたしました。

岐阜県 美濃加茂市(四万八千五百七人)

この市は、浜田と規模が同等で浜田市の駅周辺と同様の開発を行っており、今後橋上駅も視野に入れて駅周辺を開発しなくてはならない当市にとって大変参考になりました。奇しくも、現在国立浜田病院の移転新築に併せた駅周辺の開発が議論されており、今思えば、タイムリーでありました。



千葉県 八千代市(十六万六千八十一人)

この市に対する視察項目は行革であり、現在図書館を中心にした地域開発を民間の活力を活用したPFIで進めようとしているところで、その手法は見習うものが多いと感じました。



神奈川県 伊勢原市(九万六千二百二十八人)

この市は自主財源率七十%で交付税非交付団体です。さぞかし立派な子育て支援センターがあるのかと思いきや、以前市役所の分室として使用していた一部屋を利用しての相談業務や沢山のメニューを民間のアドバイザーに委託して実施。少ない経費で大きな効果をあげているようです。浜田市もコスト意識をもっと養うべきと実感した一日でした。



土地開発公社 行政視察記

本年の行政視察は、北陸を中心に実施。移動は、広島西空港から小松空港までエアコミューターを利用。私も生まれて初めて十九人乗りのコミューターに乗り、なんともいえない揺れを体験。

まずは、富山県砺波市の「チューリップ四季彩館」を視察。全国一のチューリップの町らしく、こだわりは半端ではありません。花と緑の財団が運営し、その運営方法には学ぶものがあります。さらに、郷土資料館を見学。



続いて、富山県氷見市の「氷見フィッシュヤーズマンズワーフ海鮮館」を視察。お魚センターとの比較をしつつ、一路石川県へ。

県立歴史博物館を視察。最後は、福井県立大学に関して、松岡町の大学支援担当者との懇談。地域住民と大学との関わり方を重点に調査。当市の大学を核としたまちづくりに今後活用していきます。

今議会から委員会を公開

本会議においては、既に傍聴が許可されており、自由に議会の雰囲気味わえ、かつ議論の身をしっかりと聞くことができますが、常任委員会に関しては、今まで非公開としてきました。

しかし、近年の情報公開の流れの中で、市民に対し情報を開示し、市政運営に協力していただこうと、今議会から常任委員会も公開いたしました。

しかし、構造上の理由等により、傍聴していただく人数は、原則三人までと、限りがあります。車椅子の方は、介護者と共に入る事が出来ます。

今議会では、全委員会で数名の傍聴者がありました。是非、皆さんも、一度委

員会の傍聴にも出かけて下さい。

十二月議会に上程された 予算案のポイント

今回、総務委員会に付託された一般会計補正予算の中で、私は、教育費の中の新規事業で「情報技術学習環境整備事業」に注目しています。

これは国の追加補正としてIT社会基盤整備に基づく施策で、市内公設公民館七館に対して、五台づつパソコンを導入し、インターネットができる環境を整備するものです。

しかし、初心者対象の教室開催ということですが、指導者はどうするのかという不安があります。

浜田は保育料が高いの？ それはなぜ？

お答えします！素朴な質問

そうですね。浜田市の保育料は近隣町村と比較しても高い状況にあります。

その状況は、別表に四歳児以上の子供たちに対する保育料の比較を示してあります。ただ最も格差がある部分で比較をしていますから、条件によっては余り近隣町村と差のないところもあります。しかし全般的に高いですよ！

どうしてこのように市町村で格差が起こるのか？それは簡単に言えば、保育の単価等全国的には同じであり、要は、それぞれの自治体がどれくらいの補助をしているかということですね。浜田市の場合は、補助はしたいが財源がないということになります。本来は、

川神裕司奮戦レポート

10月~12月

10月	5日	会派「青風倶楽部」会合
	6日	石見神楽を語る会
	12日	議会だより編集委員会 夢風船を飛ばす会
	13日	MC浜田10月例会
	19日	情報通信推進懇話会
	21日	商工会議所青年部中国ブロック大会（鳥取）
	22日	日本薬剤師会学術大会（大阪）
	25日	議員研修会（医療問題）
	27日	行財政改革推進会議
	29日	まちづくりシンポジウム
11月	30日	広島市議会交流会
	3日	市制60周年記念式典 喜納昌吉コンサート運営
	5日	青少年ソフトボール大会
	6日	夢風船を飛ばす会
	9~11日	全国学校保健大会（小倉）
	12日	全日本神楽大会
	16日	三師会懇談会
	23日	自民党青年局会議
	25日	ソフトボール協会懇談会
	27日	学校薬剤師会研修会
12月	30日	大学を校とした交流サロン
	1日	タウン誌発行の会
	5~19日	12月定例議会
	9日	パソコン簡単お稽古塾
	17日	MC浜田5周年記念事業 (HAMADAホームページコンテスト)



今回市制六十周年の記念事業の位置付けとして、二年ぶりに沖繩のパワーを浜

喜納昌吉コンサート 実行委員会

浜田は高いですね。

4歳児の保育料の比較

定義	所得税が37万円以上 40万円未満
浜田市	40,500円
平田市	38,000円
江津市	38,200円
金城町	19,300円

医療・福祉、教育等につき込まなければならぬ財源が、他に回されているということだと思えます。今後、絶対に改革の必要があります！

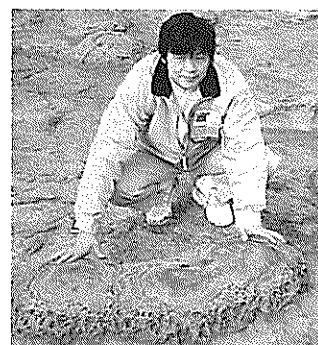
暁ヶ浦

先日ある会議で、浜田の文化財でもっと浜田の情報として発信すべきものがあるのではないかとという話題になりました。

それは、「暁ヶ浦」。

地形は全国的には、類がないとも言われ、化石に関しては、専門家も驚くような宝庫です。

千畳敷やノジュールと言われる独特の自然の造形物。明治五年の浜田地震で隆



起したという話を耳にしますが、江戸後期あたりの地図には現在の地形が記載されており、地震が直接の原因ではないのではないかと、言う意見があることを聞いて少々驚きです。

皆さんも、再度訪れてはどうですか？

事務局通信

いよいよ激動の二十世紀に別れを告げて、来年は二十一世紀を迎えます。振り返ると本世紀ほど変化のあった世紀はないと言われますが、確かにそうだと思います。次世紀は、明るい豊かな世紀になることを希望します。

今年も、皆様方に川神裕司が大変お世話になりました。二十一世紀に突入しても若さと行動力を駆使して頑張ってくれるものと思えます。引き続きご意見、ご指導をお願いします。

二〇〇一年の二月一日までは、ホームページの公開を実施しようと思えます。